

TAKAMATSU  
MUNICIPAL  
HOSPITAL



# 2020

高松市立みんなの病院

卒後臨床研修プログラム



## 目次 Contents

1. 基本方針・研修理念	1
2. 院長挨拶	2
3. 臨床教育センターより	3
4. 病院概要	4
5. 専門医制度による施設認定一覧	5
6. 高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて	6
7. 臨床研修応募申込書	9
8. 病院見学依頼書	10
9. 募集要項／研修医の処遇	11

平成30年9月に仏生山町に新築移転し、病院名が変わりました。

### 「高松市立みんなの病院」(旧高松市民病院)の概要

「高松市立みんなの病院」は、高松市によって設立された公立病院です。  
 「高松市民病院塩江分院」との2病院体制で「生きる力を応援します」という市立病院の基本理念のもと、連携・協調しています。  
 より良い環境で安心して療養生活が送れるよう取り組んでおり、  
 平成30年9月に「高松市立病院」として仏生山町に新築移転を行い、  
 一般公募により「高松市立みんなの病院」と名称を変更し、新たなスタートを切りました。  
 住民の健康保持と多様化する医療需要に応え、地域の中核病院としての使命を果たすため、  
 高度・特殊医療を中心に住民医療福祉の増進に努めています。



#### 診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、  
 整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、  
 耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、  
 臨床検査科、病理診断科（25診療科）

#### 病床数

305床（一般病床299床（うち地域包括ケア病棟48床）、感染症病床6床）



## 高松市立病院基本理念 生きる力を応援します

### 基本方針

- 「リーディングホスピタル」として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 「理想的な医療」をファインチームワークで提供します。
- 「まごころのある医療人」を全力で育成します。
- 「地域とのつながり」を大切にし、みんなの暮らしを支えます。

### 研修理念

医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、診療能力を獲得するため、医療人として必要な基本姿勢を養成する。

将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につける。



## 院長挨拶



高松市立みんなの病院は、平成30年9月に高松市民病院と香川診療所を統合し、新築移転した自治体病院であり、民間の医療機関が対応困難な高度専門医療、救急医療などを行う急性期病院です。高松医療圏の中心に位置する病院として、急性期医療に加え、地域包括ケア病棟の設置や地域医療・患者支援センターを整備するなど地域医療の確立にも貢献しています。

私たちは、研修医の先生を多く受け入れ、活気あふれる臨床研修病院を目指しています。次世代を担う医師を育成することは、私たちの義務と責任であると認識しています。当院では、各科に専門性を持った指導医がたくさんいて、しっかりした臨床研修プログラムも作成しており、また各科の先生同士の連携も良く、いい雰囲気の中で仕事をしています。女性医師も増えており、院内保育所を設置するなど働きやすい環境を整えています。医学生・研修生の皆さんには当院を気軽に見学していただき、ぜひ私たちと研修をしましょう。

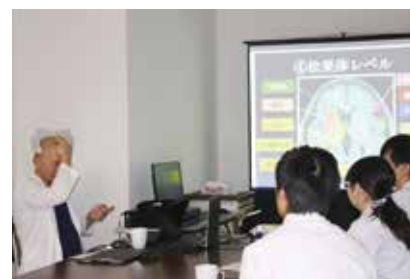
高松市立みんなの病院院長 和田 大助



高松市立病院学会の様子



医療局会の様子



プライマリ・ケア レクチャー聴講会の様子

## 臨床教育センターより



高松市民病院は平成30年9月1日から高松市立みんなの病院として新たなスタートを切りました。高松市のほぼ中央にある仏生山町に建設された新病院には、3.0TのMRI、PET、最新鋭のエコー装置、リニアックなど最新の医療機器が整備されています。皆様が初期臨床研修医、後期研修医として研鑽を積む施設にふさわしい機能を備えています。また、当院は沖縄県八重山病院とも連携しており、八重山病院での一定期間の研修も可能です。加えて、最も誇れるのは、研修医の皆様を大切に指導できる熟練した医療スタッフが存在していることです。初期臨床研修の2年間は、それ以後の医師としての歩み方に大きく影響を与えます。是非、設備と人材のそろった高松市立みんなの病院を初期研修の場として選んでください。職員一同、心を一つにして皆様をお待ち申し上げます。

臨床教育センター長 長町 顕弘



初期研修病院としての高松市立みんなの病院をおすすめする理由が2つあります。1つ目は患者さんを多くの科で連携して診ることができる余裕があることです。なぜなら病床数が300台で大病院ではないため、一人の患者さんに対して手厚く診ることができ、また科同士で垣根が低く疾患についても相談しやすいことです。2つ目は高松市立みんなの病院で働く人間です。私はこの病院に赴任して1年半あまりですが、科同士も仲が良く、コメディカルの方々との連携もしっかりとり患者さんやご家族に対応できるスタッフが大勢いる病院であると感じています。このような病院で大事な初期研修を受けられることをおすすめしたいです。2018年9月からは仏生山に移転しましたが、病院そのもの、立地場所、働くスタッフが素晴らしい環境で一緒に成長できることを期待しております。

臨床教育センター  
副センター長 藤井 笑子

**希望日時、見学期間・内容など  
ご希望にお応えいたします!**

**お気軽にご連絡下さい。**

高松市立みんなの病院事務局 総務課  
TEL 087-813-7171(代表)  
FAX 087-813-7141(代表)  
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp

☆P10に病院見学依頼書があります

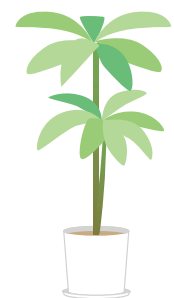


### 見学に係る費用について

一部助成できるようになりました。  
詳しくは、お問い合わせください。

## 病院概要

所在地	〒761-8538 高松市仏生山町甲847番地1 電話 087-813-7171 (代表)	
開設年月日	昭和27年12月23日 (平成30年9月1日移転)	
病院長	和田 大助	
診療科目 (25科)	内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 神経内科 精神科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科 救急科	
施設の概要	敷地面積 54,100㎡ 延床面積 27,300㎡ 駐車場 643台 (来院者、職員駐車場)	
病床数	305床 一般病床299床 (地域包括ケア病棟48床を含む) 感染症病床6床	
職員の状況 ※令和元年6月現在	419人 (医師の数 54人、指導医数 26人)	
患者数 平成30年9月～ 平成31年1月実績	1日平均入院患者数	225人
	1日平均外来患者数	405人
機関指定等	保険医療機関 健康保険病院 社会保険病院 船員保険病院 国民健康保険病院 労災保険指定医療機関 臨床研修病院 生活保護法指定医療機関 へき地医療拠点病院 DPC対象病院 救急告示病院 公害医療機関 医療保護施設 原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関	



## 機関指定等

広域救護病院  
 労災保険第二次健診等給付病院  
 第二種感染症指定医療機関  
 指定自立支援医療機関（更生医療）  
 指定自立支援医療機関（精神通院医療）  
 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関  
 身体障害者福祉法指定医配置医療機関  
 母体保護法指定医配置医療機関  
 精神保健指定医配置医療機関  
 特定疾患治療研究事業委託医療機関  
 病院機能評価認定施設  
 地域医療支援病院



## 専門医制度による施設認定一覧（令和元年6月現在）

日本内科学会認定制度による教育病院	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本消化器病学会認定施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本肝臓病学会認定施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本呼吸器学会専門医制度認定施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本病理学会研修認定施設B
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本臨床細胞学会認定制度
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設（基幹施設）	日本精神神経学会専門制度研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本麻酔科学会認定病院
日本脳神経外科学会専門医認定制度による研修教育病院	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本アレルギー学会認定教育施設	日本環境感染学会教育施設認定教育施設
日本形成外科学会教育関連施設	

## 高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて

### 【1年目】

内科24W (6W×4科)				救急12W (4W×3)	外科8W	小児科8W
一般内科 <sup>※1</sup>	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	麻酔科 (4W) 含む <sup>※2</sup>	一般外来研修含む <sup>※1</sup>	一般外来研修含む <sup>※1</sup>
高松市立みんなの病院						

### 【2年目】

地域医療 4W	産婦人科 4W	精神科 8W	選択科目36W (4W×9)
協力病院 <sup>※3</sup> 協力施設	高松市立みんなの病院	高松市立みんなの病院又は徳島大学病院 <sup>※4</sup>	

- ※1 一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療の研修期間中に並行して実施。
- ※2 麻酔科における研修期間を救急部門の研修期間（最大4週）とみなす。
- ※3 地域医療（沖縄県立八重山病院、高松市民病院塩江分院）での研修が可能です。
- ※4 到達目標の達成に必要な研修科を選択でき、高松市立みんなの病院又は徳島大学病院から選択することができます。

個々のニーズにあわせて指導医と選択カリキュラムを相談することも可能です。

将来を見据えて、自分ならではのカリキュラムを組んで充実した内容で研修を行えます。

- ・2019年6月現在、当プログラムは中国四国厚生局へ届出中のものであり、変更となる場合があります。





# 研修内容

## 内科

内科は、循環器科、消化器科、呼吸器科、血液内科、一般内科に分けられているが、専門のみではなく、幅広く、全員が総合内科医としての役割も担って診療にあたった。初期研修は多くの症例から学ぶことが大変重要であり、当院では軽症から重症まで、様々な症例を経験することができるので知識や手技の習得も早くできる。

### ●内科医として必要な基礎的知識・手技を学ぶ。

Common diseasesを中心に、症例から学ぶことを基本とし、特に病歴・身体所見を重視し、必要な検査を行い、診断するトレーニングを行う。診断に必要な、血液ガス、血液培養、グラム染色、胸水検査、腹水検査、髄液検査、骨髄検査などの手技を習得する。輸液や輸血の管理、抗菌薬や抗癌剤投与の基本を習得する。救急患者の初期対応を学ぶ。その中で、気道確保、CVカテーテル、人工呼吸療法などの手技、管理を習得する。チームとしての医療を経験する。

### ●希望に応じて習得できる検査

上部・下部内視鏡検査、ERCP、気管支鏡検査  
心エコー、運動負荷検査、心臓カテーテル検査  
呼吸機能検査、気道過敏性検査、ポリソムノグラフィー

## 救急（麻酔）

麻酔・救急蘇生に関する知識と手段、循環・呼吸を主とした全身管理の取得。

中心静脈路確保（外頸・内頸静脈）、術中麻酔管理、ICLS、気道確保（用手・ラリングアルマスク・気管挿管）、心マッサージ、除細動器の使用（AED含む）、脊椎穿刺（脊椎麻酔）、硬膜外穿刺（硬膜外麻酔）、人工呼吸管理（人工呼吸器の使い方）

## 地域医療

各研修協力施設に指導者を置き、地域保険・医療の現場においての実体験を通し、患者様・施設入所者および家族等に対して全人的な対応や社会における各施設の役割等について理解し、実践できる能力、知識の習得について指導する。

### 多彩な地域医療研修を

新しく沖縄県立八重山病院（石垣市）での研修が可能になりました。

平成30年10月1日 新築移転開院





## 外科

将来の志望領域に拘わらず、外科学の基本的な知識と手技を習得する。

臨床研修指導医を中心として内視鏡技術認定医、肝胆膵高度技能医などの各専門領域の外科指導医が実践を通して教育する。研修スケジュールには、回診・カンファレンス・手術への参加が組み込まれ、知識と技術の向上に伴い、より高度な研修を目指す。

基本的な外科の手技（糸結び、創傷処理、切開排膿術）の習得

開腹・開胸術・虫垂炎・ヘルニア等の手術経験 内視鏡下手術の基本操作の習得

輸液栄養管理を含む周術期管理の実際 ターミナルケアを含む患者への接遇 救急医療 医療安全、感染対策の基本

## 小児科

成長期にある小児の健康上の問題を身体的のみならず、精神的な面、社会的な面からも把握できるようにする。取り扱う患者は一般の急性疾患が主となるが、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、てんかん、心因性疾患等も対象となる。熱性けいれん等の小児救急疾患への対応についても習得する。

また、予防医学的観点から予防接種（相談と実施上の注意点を主に）各種検診活動（発達遅延の早期発見等）が適切にできるようにする。最も頻度が多い急性疾患では、季節毎に流行する疾患の特徴を的確に捉えられるようにし、抗生剤適正使用の概念を理解・実践できるようにし、日常診療上重要となる静脈採血・点滴ルートの確保を確実に実施できるよう重点的に習得に努める。

## 婦人科

- ① 周産期：(1) 正常妊娠、分娩、産褥の管理  
(2) 異常妊娠、分娩、産褥の管理  
(3) 産科的手術の介助：会陰切開縫合術、吸引分娩、流産手術、子宮頸管縫縮術、帝王切開、子宮外妊娠  
(4) 正常・異常新生児
- ② 婦人科：(1) 一般婦人科疾患の診断、治療管理  
(2) 婦人科手術疾患の介助…子宮全摘、付属器手術、子宮頸部円錐切除、子宮筋腫摘出術、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、悪性腫瘍手術  
(3) 悪性腫瘍に対する化学療法についての基礎的知識習得
- ③ 生殖医療：(1) 内分泌異常に対する診断、治療  
(2) 一般不妊治療  
(3) 生殖補助医療（体外受精等）に対する知識、技術の習得



## 精神科

- ① 病棟：主に統合失調症、躁鬱の感情障害、認知症について1例ずつ担当し、薬物療法の進め方を習得、その有効性を体験する。
- ② 外来：患者様への問診の仕方、鑑別判定および治療薬選択について習得する。

年 月 日

高松市立みんなの病院長 殿

### 高松市立みんなの病院臨床研修応募申込書

次のとおり貴院卒後臨床研修に応募します。

氏 名	(ふりがな)	本 籍	希望する診療科
		都道府県	1年次研修
生年月日	S・H 年 月 日生 ( 歳)	男 ・ 女	2年次研修
現住所	〒 電話番号: 携帯電話番号: e-mail:		
帰省先等の連絡先	〒 電話番号:		
学 歴 (高等学校) (卒業時より) (記入のこと)	学校学部学科名		修学期間
			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
医籍登録番号	第 号	医籍登録年月	年 月 日

研修履歴・職歴 (医籍登録後の履歴を漏れなく記入すること)

期 間	医 療 機 関 名 等
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

年 月 日

高松市立みんなの病院 病院長 殿

見学希望者 住所

氏名

## 病 院 見 学 依 頼 書

次のとおり病院見学を希望します。

記

ふりがな		性別
氏名		男・女
現住所	〒 - -	
連絡先	- - (自宅・携帯) e-mail:	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 ( 歳)	
大学名	大学 年 卒業(見込)年月 年 月	
出身地	都・道・府・県 区・市・郡	
見学希望日	第1希望 年 月 日 第2希望 年 月 日	
希望する診療科 見学の内容		
交通手段	公共交通機関(JR・高速バス)・自家用車・その他( )	
その他 (質問など)		

※在学証明書若しくは学生証の写しを添付してください。また、見学当日に、原本の提示をお願いします。

## 高松市立みんなの病院 臨床研修プログラム 募集要項

- 応募資格 医師国家試験合格者又は合格見込みの者
- 募集人数 1年次—2名 2年次—2名
- 選考方法 書類審査及び面接により臨床研修委員会で選考
- 応募締切 令和元年度8月31日(延長する場合あり)
- 選考時期 申込受付後に日程調整の上、応募者へ連絡します
- 提出書類 下記の書類を一括して封筒に入れ、必ず『書留郵便』送付、又は、持参してください。(持参される場合は、平日にお願いします)
  - ・ 申込書(様式：9ページ)
  - ・ 履歴書
  - ・ 卒業見込証明書又は医師免許証(写)
  - ・ 健康診断書
- その他 研修医の採用は、全国マッチング協会を通して決定します
- 宿 舎 借上宿舎(要相談)

## 研修医の処遇

- 身 分 非常勤嘱託医師
- 給 与 1年次 基本給/月 350,000円 2年次 基本給/月 380,000円  
[手当] 時間外手当・宿日直手当等
- 学 会 費 出張旅費及び参加費等の支給
- 勤務時間 毎週8時30分～17時00分(37.5時間) 土日・祝祭日を除く
- 有給休暇 有(労働法の規定による)
- 社会保険 有(健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険)
- 被服貸与 有
- 研修修了の認定及び証書の交付  
研修を終了し、臨床研修委員会で目標が達成されたと評価を得た者に対して臨床研修修了認定証を交付する。

## 書類提出先・問い合わせ先

### 高松市立みんなの病院

〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1  
高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係  
TEL 087-813-7171(代表)  
FAX 087-813-7141(代表)  
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp





## 高松市立みんなの病院

〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1  
高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係  
TEL 087-813-7171(代表) FAX 087-813-7141(代表)  
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp  
http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/

